

令和2年度 第3回大和市文化創造拠点等運営審議会 会議要旨

- 1 日時 令和2年8月24日(月)午後3時～午後5時25分
- 2 場所 文化創造拠点シリウス6階 601講習室
- 3 出席者 委 員 6名
事 務 局 4名(図書・学び交流課長ほか3名)
指定管理者14名(やまとみらい統括責任者、芸術文化ホール館長、大和市立図書館長、生涯学習センター館長、屋内こども広場館長、防災センター所長、中央林間図書館長、北部文化・スポーツ・子育てセンター館長、渋谷図書館長、つきみ野学習センター館長、桜丘学習センター館長、渋谷学習センター館長ほか2名)
- 4 傍聴人数 なし
- 5 議題 (1)指定管理者の評価について
- 6 議事要旨
(1)指定管理者の評価について(一部非公開)
・文化創造拠点シリウス、中央林間図書館、大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター、各地区学習センター及び渋谷図書館の令和元年度(平成31年度)分の事業結果並びに自己評価について、指定管理者から説明を行った。(公開)
【質疑応答】
委 員 :とてもすばらしい働きをしているのを見ており、運営に感謝している。人員配置について、常勤で正規職員と非常勤の職員のバランスについてと、期間中にやめる方がいるのかどうかを、やまとみらい全体としてで構わないので教えてほしい。
指定管理者:8月時点で、清掃員を含めシリウスで179人。それ以外の館の合計で83人、やまとみら

い全体で 262 人で運営している。常勤・非常勤の内訳は、会社ごとに解釈が異なり、統計的に出すのが難しい。個人的な都合や家庭の都合でやめる人がおり、館長は人事異動に伴って交代することがある。なるべく定着率を高める努力をしている。

委員：これだけ大きな実績を残されることはとても大変なことであり、支えてくださる職員の苦勞だけで成り立っているのではない。そういったことにならない運営を願っている。

委員：図書館のリクエスト件数の考え方だが、新刊をリクエストするケースと他館にあるものをリクエストする二つのケースがあるが、その比率はわかるか。この数値は、新刊購入の数にも影響すると思う。

指定管理者：予約は、図書館にあるもの、または受取館以外にあるものを要望されたものとしており、リクエストは、市内の図書館にないものを要望されたものとしている。二つをトータルした件数しか手元の資料にはなく、比率はわからないが、大半は図書館にあるものに対しての要望となっている。参考として、昨年度一年間でリクエストを受けて新規購入したのは市内で 2,653 冊である。

委員：3年、4年と経過し、一体化する効果が出てきており素晴らしい。なお一層取組んでもらうため、例えば、シリウスであれば1階から6階まですべてを使った事業等を考えてほしい。

芸術文化ホールでは、一流のアーティストの招へいや、地域とのコラボレーションについて、今後も計画してやってほしい。一階の奥のスペースを開放して、駅ピアノのような企画はできないだろうか。

図書館については、蔵書が増えてきており、コミュニティーセンターや児童館への図書の再配置のようなことはできないかを検討してほしい。また、図書館・図書室について、机や椅子などの統一性を取ったほうがよいのではないかと思う。

生涯学習センターは、全館共通のテーマで講座等かできないか。また、ぷらっとやまとの利用が多くあり、事務室前のテーブルも混雑している。そのあたりの動線を改良をしてもらえるとよい。

広報誌の発行はとても有効で、学習センターで新しい広報誌を出したことは、とてもよい取組みである。全体の広報として、シリウス、各学習センターにコミュニティーセンターも含めた横断的なものの発行を期待している。

指定管理者：1階ホワイエは、メインホールの利用がない時は開放している。学生が座って談笑したり、本を読んだりしている様子を見かける。駅ピアノのようなアイディアは、安全に利用いただくための警備などが必要であるが、検討させていただきたい。広報については、新しい広報活

動として紙だけでなくデジタルの併用を検討している。全体としての広報については、アトバイスとして受け取り今後に生かしていきたい。

指定管理者：コミュニティーセンターなどへ図書館から本をお届けする仕組みは無いが、団体の方に来ていただき、団体貸出用の本を貸出す取組みをしている。子どもを対象とする施設限定だが、児童向け図書のリサイクルフェアでも本を提供している。

指定管理者：去年は生涯学習センターとつぎみの学習センターで南極をテーマとして連続講座を実施した。今年は、5館連携で SDGs をテーマに連続講座を計画している。今後も、連続講座を実施していきたいと考えている。

6階のフリースペースは、土曜、日曜日・祝日は学生を中心に賑わっている。混んでいる時間帯は事務所前のスペースにも人が流れてくる状況だ。シリウス全体で席が足りず、人が流れてきてしまうのは仕方ないと考えているが、利用者からご意見をいただきながら改善を図っていきたい。

委員：本日来館して、一度触れたものは戻さないでくださいという掲示があった。本を選ぶときに触らないほうが良いということか。また、返却された本は、どの程度消毒しているのか。アンケートで空調に対し、1階では寒いところと暑いところがあるとのことについて、どのように対応していくのかをお聞きしたい。

指定管理者：手に取ったら戻さずにと注意書きは、チラシに対しての掲示かと思う。図書館の本は自由に選んでもらえるようになっており、棚に戻すことを禁止する対応はしていない。現在、滞在時間も 30 分に制限しており、目当ての本を取り、借りているという方が多い。予約本に関しては、次の人が触れることが分かっているので、最低3日間空けてから貸し出している。結果、通常よりお待たせすることになってしまい、ご迷惑をおかけしている部分がある。

指定管理者：1階の空調は防災センターで一括管理している。現状、新型コロナウイルス対策として換気に重点を置いている。特に1階は出入りが多いため、夏場に冷えにくいことは元から課題としてある。今後、新型コロナウイルスが収束した際には、皆さんが快適さを感じるようにしたいと考えている。

委員：全体的に評価は妥当で、素晴らしい活動をしていると思う。新型コロナウイルスの中でも適切な判断をするのは大変なことだと思うので、感謝する。

今回、報告書を拝見し、タイトルが統一されていない等見づらかった。文化創造拠点の報告書は 100 ページ以上あるが、構造化されておらず、読むのに非常に苦勞した。全体を通してのナンバリングの統一がされていないし、目次をつけてもらえると改善されるのではないか

と思った。一事は万事だと思うので細かい点についてもしっかりやってほしい。

アンケートの時期が異なっていること、アンケートのデザインや評価、分析などは連携して行われていたのか教えてほしい。

指定管理者：報告書については、見づらく、目次もなく、構造化されていない部分があったことは反省点であり、今後工夫していきたい。

アンケートの時期については、それぞれの施設の状況もあり異なっている。セルフモニタリング委員会で議論し、アンケートの内容は統一しているが、デザインや分析は各施設ごとに異なっていた。今後は統一された内容で整理できるよう調整していきたい。

委員：これだけの調査をするのは大変だったと思うので、見やすさの部分と今後につなげていくためにももったいないと思いコメントした。

委員：新型コロナウイルスの影響により、各地で催し物が中止となっている。中止は終わりではなく、どうすれば実施できるのかと考える出発点でもある。どのように新しい形で再開させるのか、考えがあるか。新年度に入ってから取り組みかもしれないが、あったら教えてほしい。

指定管理者：新年度の取り組みとなるが、図書館の事例で、健康テラスでやっていた特に人気のあった、体操、手芸のイベントについて、スタッフで動画を作成し、Facebookを通じて動画を配信した。自宅で楽しんでもらうきっかけになればと実施した。

指定管理者：ホームページの事例として、過去に行った事業の紹介を兼ねて、新型コロナウイルスが収束したら来館してくださいというページを順次アップするようにし、自宅にいても芸術に触れることができる様な取り組みを行った。

委員：文化の新しい生活様式を探して、種をまくような作業を今後も継続していったほしい。

委員：他に無ければ質疑を終了し、やまとみらいの方にはご退席いただく。

（一同）：特になし。

（指定管理者やまとみらい退席）

・文化創造拠点シリウス、中央林間図書館、大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター、各地区学習センター及び渋谷図書館の令和元年度（平成31年度）分の評価案について、事務局から説明を行った。
（非公開）

【質疑応答及び意見交換】

委員：資料1-①、2の利用者サービスに関すること、(1)①の評価は「S」でよいのではないかと。若者たちがプロと接する事業をやったり、気軽に触れることで芸術の楽しさを知る人が増

える取組みをしたりすることは、地方自治体が設置するホールとして良い在り方だと思う。このような取組みは、基本的なホールの設置目的を十分に理解していることに当たると思う。

事務局：一流のアーティストとの交流は貴重な体験になる。文化振興課とも相談して検討する。

委員：運営側が用意した音楽を聴かせるばかりの運用は、自治体のホールの在り方ではない。若者を実際に舞台に上げるなど、体で文化・芸術を感じることは大事だと思う。
その他は、市の二次評価の通りでよいと思う。

委員：資料4-①について、指定管理となり一年目で、体制が整ってきたというところであり、まだ更なる飛躍も期待できる。より一層の向上と市民満足度を上げる努力がほしいということ
を強調してもよいのではないかな。

屋内こども広場のボーンホルンドの遊具について、入れ替えを考えてはどうか。子どもは小学校2年生までなので、使う子どもは入れ替わるが、飽きが来ないような工夫をしていただきたい。

委員：資料2-①、2の利用者サービスに関することで、リクエスト件数について、大和市立図書館を上回るようになったとの記載があるが、具体的に何か。資料2-③の6ページを見ても、どの数値だかわからなかった。

事務局：リクエストだけを比べるという部分だったが、資料から読みとれないため確認して文言を調整する。

委員：全体としては二次評価の内容はよいと思う。

委員：レファレンスの数が減ったから評価がよくないという表現があったが、レファレンス件数が増えたからよいとは限らず、少なくなった方がよい場合もある。表現を少し調整する必要があるのではないかな。図書館で探し物をする際に、自己解決するか、図書館の人に聞くかの二つの方法がある。資料1-③、P36には、「いずれは職員を介さずに自身で情報要求を満たすことができるよう、資料検索、情報検索、図書館利用の援助を重視しました。」と記載があるように、自己解決の情報、ツールを整理することも加味して評価するとよいと思う。

委員：人員体制に関して、渋谷はやむを得ない理由としてわかるが、屋内こども広場は責任ある立場の職員の不在が長くなるなど、大変な状態だったと聞いている。私自身、状況の説明を受けており、評価は厳しくてよいと思う。

委員：定量的な評価はこれまでも多かったが、新型コロナウイルスの問題が出てきてから、今後、定量的な評価だけでは困った事態になる。そうではない指標を今から用意する必要があると思う。

レファレンスについて、シリウスの図書館では、どのようなレファレンスがあることが望ましいのかターゲットを想定して、考えた方がよいのではないか。

指定管理者にも伺ったが、今年度の取組みというわけではないが、新型コロナウイルスを機会にどのような始まりを作れるのかということにもっと意識をもってほしい。

最後に、先ほど意見が出たが、芸術文化ホールでは、きわめて地域に密着した方法での取組みをよく考え、大変工夫されている。

委員：それではよろしいか。駆け足で申し訳ないが、皆様から頂いた意見を集約して、審議会の意見としていく。集約に関しては事務局にお願いする。

事務局：集約したものと本日の会議の内容は、委員へお戻しする。最終的な表現に関しては会長と調整させていただきたい。

委員：最後の調整は事務局と会長でやらせていただく。

(一同)：意義なし。

事務局：最終的に評価が確定したら、HPで公開するのでその際にはご連絡する。

・その他

事務局：今日が第三期最後の審議会である。今期は渋谷図書館、地区館の選定にご尽力いただき大変感謝している。四期目も継続していただく方は、最初の会議を10月1日に予定している。次回の審議会では、次期指定管理者の選定を行う重要な会議となるのでよろしくお願いしたい。

委員：以上をもって終了とする。

7 会議資料

- ・資料1-① 令和元年度大和市文化創造拠点評価書
- ・資料1-② 大和市文化創造拠点 令和元年度事業計画書
- ・資料1-③ 大和市文化創造拠点 令和元年度事業報告書
- ・資料1-④ シリウスご来館者アンケート調査 報告
- ・資料2-① 令和元年度大和市立中央林間図書館評価書
- ・資料2-② 大和市立中央林間図書館 令和元年度事業計画書
- ・資料2-③ 大和市立中央林間図書館 令和元年度事業報告書
- ・資料2-④ 大和市立中央林間図書館ご来館者アンケート調査 報告

- ・資料3-① 令和元年度大和市中北部文化・スポーツ・子育てセンター評価書
- ・資料3-② 大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター 令和元年度事業計画書
- ・資料3-③ 大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター 令和元年度事業報告書
- ・資料3-④ 大和市北部文化・スポーツ・子育てセンターご来館者アンケート調査 報告
- ・資料4-① 令和元年度各地区学習センター及び渋谷図書館評価書
- ・資料4-② 各地区学習センター及び渋谷図書館 令和元年度事業計画書
- ・資料4-③ 各地区学習センター及び渋谷図書館 令和元年度事業報告書
- ・資料4-④ 各地区学習センター及び渋谷図書館来館者アンケート調査 報告
- ・(参考資料) 指定管理者の評価について